二次資料における外国語雑誌の配列

The Filing Order of Journal Titles in Secondary Sources

山本 恵子¹ 杉田奈津枝² 山本 節子³

関西医科大学附属図書館

I. はじめに

図書館が出版される刊行物すべてを所蔵することは、容積的にも経済的にも不可能であるし、それらを把握することすら困難な状況になっている。しかし、図書館員は利用者の求める情報をあらゆる手段を用いて提供する役目を負っている。自館の目録を繰るだけで解決することもあれば、国内に所蔵せず、国外に文献を求めることもある。利用者にとって大事なことは必要な文献を迅速に入手することである。

自館に所蔵しない文献を入手するのに目録類は欠かせない。一方、書誌事項を確認する前には索引誌、抄録誌の収載誌リストで、雑誌の収載の有無を調べるのが普通である。日頃、これらの所蔵目録や収載誌リストに目を通していううちに、その配列に一定の法則がなく、タイトルの見落としや、探すのにいたずらに時間がかかってしまうケースがあるのに気づいた。

そこで外国語雑誌が所蔵目録や収載誌リストでどのように配列されているか調査したので報告する。

II. 方 法

以下に示す目録やリスト合わせて13誌を対象

とした。

- 医学雑誌総合目録外国雑誌編第7版（以下医総目という）
- 学術雑誌総合目録欧文編1988年版（以下学総目という）
- JICST 資料所蔵目録1989（以下 JICST という）
- 現行医学雑誌所在目録1989年版（以下現行という）
- Current Serials Received (BL) 1986. (以下 BL という)
- Ulrich's International Periodicals Directory, 26th ed. 1987-1988. (以下 Ulrich という)
- List of Journals Indexed in Index Medicus, 1990. (以下 IM という)
- List of Journals Abstracted (Excerpta Medica) 1988. (以下 EM という)
- Serial Sources for the BIOSIS Previews Database, Vol. 1989. (以下 BA という)
- Chemical Abstracts Service Source Index 1907-1989 Cumulative. (以下 CA という)
- List of Journals and Publishers' Addresses Presently Covered in Current Contents. 1989. (以下 CC という)
- SCI Journal Citation Reports-1988 Full Titles of Citing/Cited Journals. (以下 SCI という)
- 医学中央雑誌収載誌目録1990年 欧文誌 (以

¹ Keiko YAMAMOTO, ² Natsue SUGITA, ³ Setsuko YAMAMOTO: Library of Kansai Medical University, 1, Fumizono-cho, Moriguchi City, Osaka 570, Japan.

表 1. 対象誌別配列一覧表

	誌名	配列	無視語	アクロニム	数 字	記 号	音標記号
医総目	全誌名	語順	前・接・冠	通常語	?	(-)は 無視し1語とする	省 略
学総目	全誌名	語順	前・接・冠	通常語	スペース・記号・数字・alphabet・ キリル文字		無 視
JICST	全誌名	語順	前・接・冠	通常語	数字・alphabet	無視	読みかえ
現 行	全誌名	語順	前・接・冠	先 頭	?	(-)は 無視し1語とする	省 略
B L	全誌名	語順	前・冠	通常語	alphabet・数字	(-)は alphabetに優先	省 略
Urlich	全誌名	語順	な し	先 頭	alphabet・数字	(.)はスペース, (&)はand と読む	読みかえ
I M	全誌名 略誌名	語順	前・接・冠	通常語	alphabet・数字	無視	省 略
E M	全誌名	語順	な し	先 頭	数字・alphabet	(&)(.)は alphabetに優先	省 略
B A	略誌名	語順	—	先頭・通常	?	(-)は alphabetに優先	読みかえ
C A	略誌名	字順	—	—	alphabet・数字	無視	読みかえ
C C	全誌名	語順	な し	通常語	?	(&)は alphabetに優先	省 略
SCI	略誌名	語順	—	通常語	?	(-)は alphabetに優先	省 略
医 中	全誌名	語順	前・接・冠	?	?	?	?

下医中という)

各資料ごとに、配列に関わる次の項目についてどのように扱われているかを調査した。

1. 配列に関係する誌名の採られ方：全誌名、略誌名のどちらに基づいて配列されているのか。
2. 配列：語順配列、字順配列のどちらを採用しているのか。
3. 配列無視語の有無：配列無視語を設けているか、否か。設けているならば対象とする語にはどんなものがあるのか。
4. アクロニムの扱い：アクロニムとは頭文字を集めて作られた文字である。例えば JMLA

はこれにあたる。その1字ずつを1語とみなした場合、JMLA は Japan の前に配列され、J の先頭部分に位置することになる。また、JMLA を1語としてみなした場合には Japan の後に JMLA は配列され、通常語扱いされていることになる。どちらの扱いを受けているのか。

5. 数字の扱い：アルファベットとの優先関係

6. 記号の扱い

7. 音標記号の扱い：üとかçのように文字についている記号を省略しているのか、無視しているのか、あるいは ü → ue のように英文字に読みかえているのか。

8. その他：各資料に特徴的な配列方法にはどんなものがあるか。

Ⅲ. 結 果 (表1)

1. 誌名：所蔵目録ではすべて全誌名で扱われていたが、収載誌リストでは全誌名で扱われていたのは、EM, CC, 医中であった。BA, CA は全誌名を含んだ略誌名であり、SCI は20文字以内の略誌名、IM では全誌名略誌名共に載せられていた。

2. 配列：CA のみが字順配列を採っているが、他はすべて語順配列を採っていた。

3. 配列無視語：略誌名で扱われている BA, CA, SCI, IM (略誌名) については既に配列無視語を取り除いた誌名であるので、ここで対象となるのは全誌名で扱われている場合である。

配列無視語を設けていないものには、Ulrich, EM, CC があった。前置詞、接続詞、冠詞を配列無視語としているのは、医総目、学総目、JICST、現行、IM (全誌名)、医中であった。BL については前置詞、冠詞は配列無視語とされているが、接続詞である and, und, et についてはこの扱いを受けていないので注意を要する。

4. アクロニム：通常語扱いされているものに医総目、学総目、JICST, BL, IM, CC, SCI の7誌あった。学総目では団体名の省略形については、ピリオド、空白があっても無視し、1語として扱うと説明されている。また、その文字の先頭に配列されているものは、現行、Ulrich, EM の3誌であった。BA ではアクロニムの表記にピリオドや空白があれば、1字を1語とみなすのでその文字の先頭に配列され、なければ通常語の扱いとなっていた。CA は字順配列をとっている所以この問題には関係しない。また、医中にはこれらを含んだ誌名がないので判明しない。

5. 数字：数字がアルファベットより優先して

いるものには、学総目、JICST, EM の3誌があり、逆に数字よりアルファベットが優先しているものに、BL, Ulrich, IM, CA の4誌があった。他の資料では実際の配列を見ても、説明を見てもどちらであるのか判明しなかった。

6. 記号：医総目と現行では、接頭語等をハイフンでつないだ語は1語とみなされ、ハイフンは無視されていたが、単語と単語をハイフンで結んでいる場合には2語となりハイフンはスペースと同じ扱いであった。

学総目では配列における優先順位が説明されており、スペース、記号、数字、アルファベット、キリル文字と規定されている。

BL ではハイフンがアルファベットに優先している。

Ulrich ではピリオドはスペースと同じ扱い、& (アンパーサンド) は and と読まれている。ハイフンでつながれた語はそれぞれを1語とみなし、ハイフンはスペースと同じ扱いとなっていた。

EM では、ピリオド、& (アンパーサンド) はアルファベットに優先している。

BA, SCI ではハイフンでつながれた語は1語とみなされハイフンがアルファベットに優先している。

CC では、& (アンパーサンド) が、アルファベットより優先していた。JICST, IM, CA では記号は無視されていた。医中では記号を含んだ誌名がなかったので判明しなかった。

7. 音標記号：省略していたのは、医総目、現行、BL, IM, EM, CC, SCI の7誌であった。音標記号を無視しているのは学総目の1誌だけであった。ウムラウトを英文字に読みかえているものには JICST, Ulrich, BA, CA の4誌があった。Ulrich にはこれに関して次の

- 1) REPORT AND ACCOUNTS- WIRA
REPORTS AND DOCUMENTS- INTERNATIONAL
CENTRE FOR PARLIAMENTARY DOCUMENTATION
REPORTS AND PAPERS ON MASS
COMMUNICATION- UNESCO
REPORTS AND PAPERS IN THE SOCIAL SCIENCES-
UNESCO
REPORTS AND REPRINTS- SOCIAL ORGANISATION
LIMITED
REPORT AND STATEMENT OF ACCOUNTS- APPLE
AND PEAR DEVELOPMENT COUNCIL
- 2) SYMPOSIUM ON RELIABILITY IN DISTRIBUTED
SOFTWARE AND DATABASE SYSTEMS
SYMPOSIA REPORTER
SYMPOSIA SERIES- AUSTRALASIAN INSTITUTE OF
MINING AND METALLURGY
SYMPOSIUM SERIES- LA TROBE UNIVERSITY BRAIN
BEHAVIOUR RESEARCH INSTITUTE
SYMPOSIUM SERIES- MEDICINE PUBLISHING
FOUNDATION

図1. 単複同一配列 (BL)

ような説明があった。「音標記号は省略されている。ドイツ語とスカンジナビア語のウムラウトは母音 a, e, u の後に, e をつける。デンマーク語, ノルウェー語, スウェーデン語では, å は aa, ø は oe となっている。」医中では判明しなかった。

8. その他 : BL では British Union Catalogue of Periodicals 方式にのっとり単複同一配列を行っていた (図1)。例えば次のような語 — Abstract, Bericht, Bulletin, Collection, Compte Rendu, Jahresbericht, Memoria, Monograph, Observation, Rapport, Record, Report, Result, Statistique, — については単数形, 複数形を同一視した配列をするというものである。他に特徴的なことは, 協会, 研究所の紀要, 雑誌, 報告等は Bulletin, Journal 等から始まる誌名の前に並ぶ。例えば Journal of the Irish Dental Association は, Journal-Irish Dental Association と表記され, これは Journal で始まる誌名の前に並んでいる (図2)。

JOURNAL- IRISH DENTAL ASSOCIATION
JOURNAL- IRON AND STEEL INSTITUTE OF JAPAN
JAPANESE EDITION
JOURNAL- ISTANBUL CHAMBER OF COMMERCE
JOURNAL- IWATE MEDICAL ASSOCIATION

:

JOURNAL- YONAGO MEDICAL ASSOCIATION
JOURNAL- ZHEJIANG MEDICAL UNIVERSITY
JOURNAL- ZHEJIANG UNIVERSITY
JOURNAL- ZOOLOGICAL SOCIETY OF INDIA
JOURNAL A
JOURNAL OF ABNORMAL CHILD PSYCHOLOGY
JOURNAL OF ABNORMAL PSYCHOLOGY

:

JOURNAL OF AUTONOMIC PHARMACOLOGY
JOURNAL OF BACTERIOLOGY
JOURNAL OF BALLISTICS
JOURNAL OF BALTIC STUDIES

図2. 機関名を含む誌名の配列 (BL)

JOURNAL FRANCAIS D'OPHTALMOLOGIE.
JOURNAL FRANCAIS D'OTO-RHINO-LARYNGOLOGIE
AUDIOPHONOLOGIE CHIRURGIE MAXILLO-FACIALE.
JOURNAL D'ECHOGRAPHIE ET DE MEDECINE ULTRASONORE.
JOURNAL D'ECONOMIE MEDICALE.
JOURNAL D'UROLOGIE.
JOURNAL DE BIOPHYSIQUE ET DE BIOMECHANIQUE.
:
JOURNAL DE TOXICOLOGIE CLINIQUE ET EXPERIMENTALE.
JOURNAL DE LA MARINE MARCHANDE ET DE LA NAVIGATION
AERIENNE.
JOURNAL DES INGENIEURS. INGENIEURS TIJDINGEN.
JOURNAL DES MALADIES VASCULAIRES.
JOURNAL FUR HIRNFORSCHUNG.
JOURNAL OF ABNORMAL CHILD PSYCHOLOGY.
:
JOURNAL OF YOUTH AND ADOLESCENCE.
JOURNAL OF ZOOLOGY-PROCEEDINGS OF THE ZOOLOGICAL
SOCIETY OF LONDON.
JOURNAL OF THE ACOUSTICAL SOCIETY OF AMERICA.
JOURNAL OF THE AICHI MEDICAL UNIVERSITY ASSOCIATION.

図3. EMの配列例

EMでは, 単語の種類によって優先関係があり前置詞, 接続詞, 冠詞より名詞, 形容詞の方が先に配列されていた (図3)。

Ulrich においては User's Guide の中に Filing Rules がある。ここには、方角を表す語はどのように表記されていても1語とみなす。団体名あるいは統治権の入っているタイトルは、同じ語で始まるタイトルと区別して前に配列する。アクロニムは1字1語の扱いであるが、U.N., U.S., St., Gt. Britain の略号は例外とする、と説明されていた。

IV. おわりに

今回調査した結果、目録6誌の配列傾向は、全誌名、語順配列、前置詞、冠詞等を配列無視語とし、アクロニムは通常語扱い、音標記号は無視、となるがリスト7誌では傾向は把めない。基準とするべき雑誌の目録（配列）規則がない状況の中で作成される目録やリストの配列に差異が生じて

いるのも当然のことである。

研究の多様化、情報量の増大にともない新しい雑誌が次々と生まれている。類似した誌名も少なくない。このような中で、求めるタイトルにより迅速に正確にたどりつくために、雑誌の基本的配列方法の基準作成が望まれる。と同時に、各所蔵目録、収載誌リストの配列の特徴を日頃より熟知しておくくと便利である。

なお、本稿は第6回図書館情報サービス研究大会（1989年6月、大阪市立労働会館小ホール）にて発表したものに加筆したものである。

参考文献

- 1) 丸山昭二郎, 井上哲也 洋書目録マニュアル, 日本図書館協会, 1972, 184.